

経済学部の総合型選抜

自分の強みを活かしたい！

6月22日(日)14:00~14:30 於40番教室



まずはHPの「受験生サイトへ」！

- ▶ HP右の「受験生サイト」
- ▶ 画面左「Introduction 大学紹介」
- ▶ 画面下方「学部紹介」：経済学部
- ▶ 画面下方「経済学部の3つのポリシー」
- ▶ アドミッション・ポリシー



今日の話のポイント！

- (1) 経済学部はどんな学生に入学して欲しいか？
- (2) 選抜方法について
- (3) 試験の日程・場所，願書受付期間などについて
- (4) 経済学部での募集人員 I部18名 II部12名

(1)経済学部はどんな学生に入学して欲しいか

アドミッション・ポリシー(AP)ってナニ？

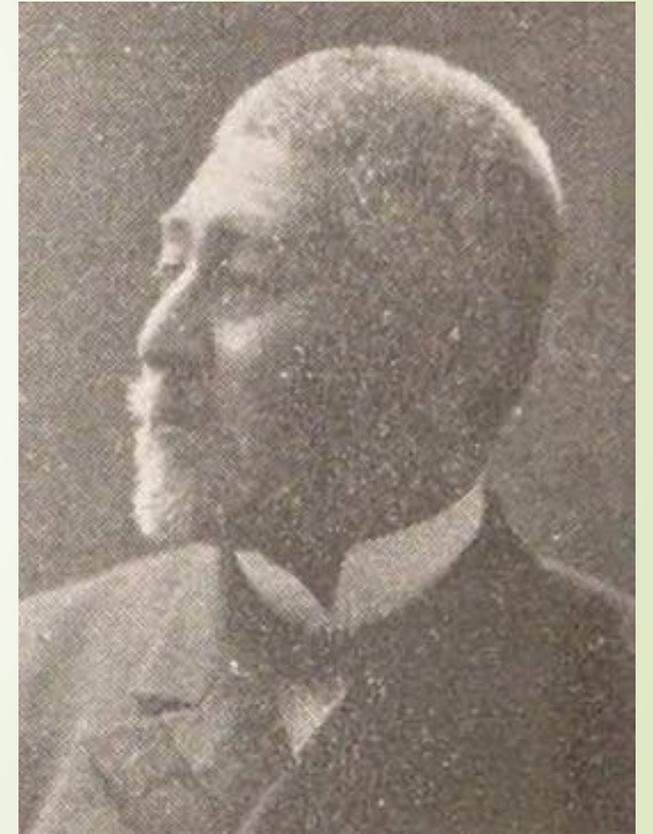
- ▶ 【AP抜粋】 「本学部の教育目標は、**建学の精神** (言い換えると…**開拓者精神** **例えば**…)に基づいて、急速に変化している国際的な経済環境・情報環境の中で、経済や社会の現状を的確に認識し、**変化に対応できる幅広い知識と能力、柔軟な感性を養うこと**としています (言い換えると…**さまざまな考え方や知識を柔軟に吸収して、多角的なもの**の見方ができるようになること)。

あさば しずか

開拓者精神を体現する人：浅羽靖

北海学園の父，浅羽靖（1854-1914）大蔵省の役人として北海道に渡り，製糖会社や農場経営のかたわら，私立夜間の北海英語学校（札幌農学校の予備校のようなもの）校長に。もちろん初めは小さな学校だったが，あちこち移転し，ついに明治39（1906年）年，現在の豊平キャンパスの土地確保と校舎新築のために私財を投じた。☆☆☆

参考文献：中嶋健一『「北海学園の父」浅羽靖』北海学園，1969年



(1) 経済学部はどんな学生に入学して欲しいか

アドミッション・ポリシー(AP)ってナニ? (つづき1)

- そのために、**日本及び世界の現実や矛盾(例え)**について、**経済学を基礎とした社会科学的視点(例え)**で理解し、望ましい社会のあり方について考えようとする人、市町村や北海道など、**地域の抱えている諸問題を解明(例え)**し、地域発展の方向を考えようとする人、企業・官公庁そのほかの組織において、直面する課題を具体的に解決する力を身につけたいと考えている人を求めています。

(1)経済学部はどんな学生に入学して欲しいか

アドミッション・ポリシーってナニ?(つづき2)

- ➡ 以下【 】内は2部のAP
- ➡ 【また、経済的事情などにより、昼間に仕事を持ちながらも勉学意欲旺盛な人、社会生活の途上にあってもさらなる自己啓発を目的とする人、第一線を退いてからの生涯学習・リカレント教育〔社会人が大学などで学び直しをすること〕を希望する人も求めています。】
- ➡ 本学部では、大学における学修の基礎として、次のような能力・知識を求めます。それらは**高等学校において身につけておくことが大切**です。

(1)経済学部はどんな学生に入学して欲しいか

アドミッション・ポリシーってナニ?(つづき3)

- 経済的事象に興味を持ち、**主体的に学ぶ意欲**(…言い換えると…)を持続できる能力。
- 様々な**文献・資料を理解**(**例え**)し、また自身の考えを文章で表現するための国語及び外国語能力。
- ディスカッションにおいて相手の発言を理解し、また自身の考えを論理的に伝えるための能力。経済学の様々な理論、知識を習得するための**数学**(**例え**)あるいは社会科の知識。」



本学HP「受験生サイト」

⇒入試情報

⇒選択肢って安心だ

⇒経済学部

⇒評価ポイント

学部・学科別Q&A

(2)選抜方法について

1次選考(調査書)

▶ 調査書

Question.書類審査で有利になる資格や活動はありますか？

Answer.特定の資格や活動が有利になるとは言えませんが、適格性自己診断書や事前提出小論文に盛り込むことができるものであれば、その分は評価の対象となり得ます。

(2)選抜方法について

1次選考(適格性自己診断書)

➡ 適格性自己診断書(600字程度)

アドミッションポリシーや大学案内を熟読し、普段の自分を振り返り、自分がいかに本学経済学部生として適格であるかを明確に書く。

評価ポイント：自分自身を客観的に分析することで、長所や短所、向き不向きなどをどれほど認識できているかを具体的かつ明晰に書けているかを重点的に見ます。

(2)選抜方法について

1次選考(事前提出小論文)

■事前提出小論文(1200字程度)

これまでの学習・探究の内容と大学入学後に勉強したいこと。

Question. 「事前提出小論文」の中で、①これまでの学習・探究の内容②大学入学後に勉強したいことの内容がありますが、これら①と②の内容は、連動していた方が好ましいでしょうか？それとも、完全に独立した内容でも問題ないでしょうか？ ■■■

(2)選抜方法について

1次選考(事前提出小論文)つづき

Answer. ①と②が完全に独立していても問題ありません。高校時代に熱心に学習したことや探究の時間に学習した内容が経済学に関連があるかないかよりも、どれほどその学習に興味を持ち、どのように勉強を進めたかを具体的に記述することが重要です。それとは別に、大学入学後に学習したい経済学およびそれに関連する領域に、なぜ、どのように関心を持ち、どのようにその勉強を進めていきたいかを具体的に記述できていることが同様に重要です。もちろん①と②が関連し、①が②の原因になっていて、②をどのように展望しているかを具体的に書けていればそれはそれで結構です。

(2)選抜方法について

2次選考(グループディスカッション)

- ▶ 試験監督の説明を含めて、「30分間」で行われます。テーマは当日、試験時間内に提示し、司会進行役は受験生が担当します。高校生がその場で聞いても議論できるテーマを提示する予定で、「議論すること」を重点的に見ます。また、個々人で考える時間はありません。議論の流れに応じて、その場で考えながら、受験することが重要です。なお、試験監督が議論に加わることはありません。特定の受験生が長く話している等、議論が停滞している際は、他の人に発言を促す可能性はあります。
- ▶ テーマは、資料なしでも答えられるような、例えば「小学生に英語教育は必要か？」など。

(2)選抜方法について

2次選考(プレゼンテーション)

- **注意点と評価ポイント**：試験監督の説明を含めて、「10分間」で行われます。試験会場にはホワイトボードがありますので、それを使うことは可能です。事前に用意した資料を配布するなどのことはできません。また、PCやスマホを見ながら発表することはできません。自分の適格性（1次選考提出書類「適格性自己診断書」）とこれまでの学習・探究の内容、大学入学後に勉強したいテーマ（1次選考提出書類「事前提出小論文」）について発表してください。



(2)選抜方法について 2次選考(口頭試問)

- プレゼンテーションの補足、2次選考「グループディスカッション」と「プレゼンテーション」を振り返っての良かった点と反省点。
- 「10分間」で行われる予定です。

(3) 試験の日程・場所，願書受付期間など

- ➡ 願書受付 9月24日(水)～30日(火)消印有効
10月1日(水)大学窓口16:00まで
- ➡ 1次選考(書類選考、来学の必要はありません)
合格発表 10月17日(金)
- ➡ 2次選考(本学豊平キャンパス)
(グループディスカッション、プレゼンテーション、面接)
10月26日(日)
- ➡ 合格発表 11月7日(金)



(4)経済学部での募集人員

I部18名

II部12名

- 募集人員はこのとおりですが、実際の合格者はこれよりも多少増減する可能性もあります。



個別相談会や本学HPの「受験生サイト」 をご利用下さい！

- わからないことがあったら、個別相談会をご利用下さい！ 教員がご説明いたします。
- **個別相談会会場：2号館11番教室**
- ～15時30分まで、16時30分～17時まで
- また、本学HPの「**受験生サイト**」もご利用下さい！